

令和4年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株) 札幌振興公社	所管課	経) 観光・MICE推進課		
		記入者	担当	星野	電話 011-211-2376
基本財産	562,600千円	本市出資額	477,600千円 (持株比率 88.08%)		
設立年月日	昭和32年(1957年) 7月12日	出資年月日	昭和32年(1957年) 8月31日		
設立・出資目的	公共用地の先行取得事業、不動産賃貸事業、児童遊園施設等の経営を行うことを目的に設立された。その後、平成10年12月に株式会社札幌交通開発公社を吸収合併し、藻岩山ロープウェイ等の事業を引き継いだ。当初、公有地の先行取得を主な目的としていたが、現在は、不動産の賃貸、駐車場等の公益的事業の管理運営、観光・スポーツ施設の管理運営等を通じて都市機能の維持向上を図ることを目的としている。	沿革	昭和32年 会社設立 昭和60年 藻岩山ロープウェイ営業開始(※) 平成8年 大倉山ジャンプ競技場等の管理開始 平成10年 札幌交通開発公社と合併 平成23年 藻岩山ロープウェイリニューアル ※印は札幌交通開発公社の事業		
代表者	代表取締役社長(常勤) 浦田 洋(市OB)				
主な出資者	① 札幌市 (88.08%) ② 株さっぽろテレビ塔 (5.64%) ③ 札幌商工会議所 (3.76%) ④ 株北洋銀行 (1.44%) ⑤ 株北海道銀行 (0.72%) ⑥ 北海道瓦斯株 (0.36%)				
団体所在地	〒060-0012 札幌市中央区北12条西23丁目2番5号SDC北12条ビル 電話 011-616-1601				

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ジャンプ競技場等の管理運営 (6ページ)	② 札幌駅周辺自転車等駐車場管理 (7ページ)
ジャンプ競技場の指定管理等を通じて、ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、普及振興及び競技力の向上を図る。また、オリンピックミュージアムのリニューアル及びオリンピックミュージアムネットワークへの加盟を契機として、オリンピズムの普及啓発及び冬季オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る。	指定管理者として札幌駅周辺の駐輪場の適切かつ円滑な管理を行う。
③ 大通周辺自転車等駐車場管理 (8ページ)	④ 不動産賃貸・駐車場事業等 (9ページ)
指定管理者として大通周辺の駐輪場の適切かつ円滑な管理を行う。	不動産賃貸については、札幌市の要請に基づいて建設したビル等の経営や公社所有地の有効活用を通じて、都市機能の向上に寄与する。直営駐車場について、地下鉄駅等の交通機関の要衝に位置しており、パークアンドライドを目的とした駐車場を中心に管理運営し、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を促すことに寄与する。
⑤ 藻岩山観光事業 (10ページ)	⑥
札幌の観光を代表する藻岩山は、その自然を生かした観光資源として、保全と活用によって魅力アップを一層促進し、市民には誇りと、観光客には喜びや、驚きを与える観光名所として重要な役割を担っていく。	
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 80.6% (主要事業支出合計 2,005,888千円 ÷ 総支出 2,487,208千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	日本新三大夜景都市に札幌が認定された理由の一つとして、藻岩山の観光資源である夜景の魅力向上に努めたことが大きく貢献していると考えられることなどから、藻岩山観光事業は観光振興に寄与しており、札幌振興公社が行うその他各事業においても、出資・設立目的に対して一定の効果が出ているものと考えているが、今後、事業効果をより一層高めていく必要があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	主要事業については、出資・設立目的を達成するために必要な事業を実施していると認識しているが、今後も内容の工夫を求めていく。

3 団体職員・構成員等

令和4年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期			
役員						10歳代	0	40歳代	15	取締役	2年		
常勤取締役	4	0	3	0	14	20歳代	5	50歳代	11	監査役	4年		
常勤監査役	0	0	0	0		30歳代	12	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月			
非常勤取締役			5			平均年齢		42.6歳		取締役	R4.6		
非常勤監査役			2							監査役	-		
職員						職員総数の推移(人)							
常勤管理職	1	0	7	2	170	R02. 4.1時点		174		R03. 4.1時点		175	
常勤一般職	2	0	36	66									
非常勤職員			56										

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R2年度決算	R3年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	2,169,319	2,269,592 (100.0%) (+100,273)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	2,097,136	2,125,659 (+28,523)
			営業費用 (b)	2,645,209	2,487,208 (▲ 158,001)
			うち販売費・一般管理費 (c)	2,590,291	2,430,396 (107.1%) (▲ 159,895)
			うち人件費 (d)	725,595	689,306 (30.4%) (▲ 36,289)
			営業利益 (e)	▲ 548,073	▲ 361,549 (+186,524)
	営業外	営業外収益 (f)	72,183	143,933 (+71,750)	
		当期純利益 (g)	▲ 581,498	▲ 288,656 (+292,842)	
	貸借対照表	資産 (h)	流動資産 (i)	750,646	1,047,568 (+296,922)
			固定資産 (j)	12,260,840	11,750,908 (▲ 509,932)
負債 (k)			10,434,094	10,509,739 (+75,645)	
流動負債 (l)		流動負債 (l)	1,005,419	1,746,426 (+741,007)	
		固定負債 (m)	9,428,675	8,763,313 (▲ 665,362)	
		純資産 (n)	2,577,392	2,288,736 (▲ 288,656)	
資本金 (o)		100,000	100,000 (0)		
借入金残高 (p)		3,124,664	3,304,172 (+179,508)		

R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a ～ d	観光事業を中心に新型コロナウイルスによる停滞から若干の回復傾向で推移したことにより売上高は増加した。休業の実施などに伴い委託費や広告宣伝費が減少したことに加え、残業が減少したことにより人件費が減少した。
e ～ g	上記の要因による営業利益の改善に加え、各種支援金等の活用により営業外収益が増加したため、当期純利益は改善した。
h ～ m	固定資産の減価償却が進んだことなどにより、固定資産が減少した。運転資金の借入による流動資産・流動負債の増加に加え、社債の一部が当期に満期を迎えることから、固定負債から流動負債への振替を行ったことなどにより、流動負債が増加し、固定負債が減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R2年度決算	R3年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	204,347	201,352	(▲ 2,995)
市業務委託料	5,885	5,982	(+97)
うち随意契約	902	924	(+22)
市指定管理費	198,462	195,370	(▲ 3,092)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	103,907	94,834	(▲ 9,073)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(54.9%)	(50.9%)	(▲ 4.0%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	61,419	58,224	(▲ 3,195)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目	R2年度	R3年度	(前年比)	評価基準	備考	
(1)健全性	剰余金(n-o)	2,477,392	2,188,736	(▲288,656)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	19.8%	17.9%	(▲1.9%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	74.7%	60.0%	(▲14.7%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	475.7%	513.4%	(+37.7%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	24.0%	25.8%	(+1.8%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	12,467千円	12,969千円	(+502千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	34.6%	32.4%	(▲2.2%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	14,887千円	13,888千円	(▲999千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	123.5%	114.3%	(▲9.2%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(▲0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	12.3%	11.4%	(▲0.8%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

健全性の評価

非常に高い
 高い
 概ね健全
 やや低い
 低い

理由

健全性については、剰余金が前年度より減少していることや、自己資本比率や流動比率などについては評価基準を大きく下回っている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、売上が大きく減少し当期利益がマイナスとなったことによる一過性のものであると判断されるため、動向を見守ることとする。

生産性については、いずれも評価基準を上回っており、昨年度評価時は評価基準を下回っていた人件費率や管理費率も改善している。

自立性については、市財政的関与割合が前年度より減少しており、自立性の高い状態が保たれていると判断される。

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標 藻岩山観光事業(ページ)

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資比率の引き下げについての検討						
①	市出資金(資本準備金を含む)	目標		477,600千円	477,600千円	477,600千円
		実績	477,600千円	477,600千円		
		評価		達成		
②	出資比率の引き下げ検討	目標		引き下げ検討	引き下げ検討	引き下げ検討
		実績	検討実施	検討実施		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

(2)人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○最低限の人的関与の継続						
①	市職員派遣数	目標		0	0	0
		実績	0	0		
		評価		達成		
②	役員の就任数(取締役)	目標		2	2	2
		実績	2	2		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○藻岩山、大倉山の利用者増						
①	藻岩山施設（ロープウェイ・観光道路）利用者数	目標		616千人	906千人	906千人
		実績	384千人	368千人		
		評価		未達成		
②	大倉山施設（リフト）利用者数	目標		419千人	511千人	511千人
		実績	257千人	151千人		
		評価		未達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
R3年度はコロナの影響による利用者数の減少が一定程度継続するものと見込み目標値を設定したが、実績はコロナによる休業の長期化など、それを上回る影響により利用者数が減少し目標未達となった。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○業務効率化による経費の削減						
①	一般管理費（人件費及び減価償却費を除く）	目標		1,247,251千円	1,408,083千円	1,405,112千円
		実績	1,245,348千円	1,130,292千円		
		評価		達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○社員の資質向上						
①	コンプライアンス研修の受講率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%		
		評価		達成		
②	索道技術研修延べ参加人数	目標		16人	20人	20人
		実績	16人	3人		
		評価		未達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
②コロナの影響により、予定していた研修の開催自体が中止となったため。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障がいのある方の雇用人数	目標		3人(法定)	3人(法定)	3人(法定)
		実績	2人	2人		
		評価		未達成		
②	障がい者就労施設からの物品調達・業務委託件数	目標		6件	6件	6件
		実績	3件	2件		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
①札幌市障がい者元気スキルアップ事業を活用する等、随時、求職者情報の収集と業務内容のマッチングを行っておりますが、法定人数を満たす採用には至っておらず、継続して採用活動を行っていく。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	https://sapporo-dc.co.jp/			
Eメールアドレス	なし			
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（				）
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：	パンフレット			

事業評価 (1) ジャンプ競技場等の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 依岡	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	①札幌市大倉山ジャンプ競技場 ②札幌市宮の森ジャンプ競技場 ③札幌市荒井山ジャンツェ ④札幌オリンピックミュージアム ・施設、設備の維持管理 ・施設の利用供与 ・大型映像車貸出 ジャンプ大会、防災訓練、各種道内イベント等 ・イベントの実施(自主事業) 大倉山ウィンターフェスタの実施		市指定管理費(公募) 164,156
(2)事業目的	観光・スポーツ施設の管理運営等を通じて都市機能の維持向上を図るため		
(3)事業開始	①、②、③：平成8年(1996年)4月 ④：平成12年(2000年)4月 ※平成18年からは指定管理者として業務を継続		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		214,999 (9.9%)	224,753 (9.9%)	(+9,754)
藻岩市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		159,249	164,156	(+4,907)	
市施設利用料金収入		28,127	24,954	(▲ 3,173)	
自主事業収入(補助金除く)		10,010	5,510	(▲ 4,500)	
その他収入		17,613	30,133	(+12,520)	
費用(支出)		264,551	254,506	(▲ 10,045)	
事業費		231,546	223,467	(▲ 8,079)	
管理費等		33,005	31,039	(▲ 1,966)	
収支差		▲ 49,552	▲ 29,753	(+19,799)	
収支比率		81.27%	88.31%	(+7.04%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	ジャンプ練習促進の為、ジャンプ台無料開放(7/1~10/20の金土日)	16日間	実施	10日間	実施
②	ウィンターフェスタの実施	中止	実施	中止	実施
③	オリパラ教育の実施	実施(53校)	実施	実施(65校)	実施(68校)
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	リフト利用者数(延べ人数)	257,086	418,700	151,226	166,000
②	ミュージアム来場者数	101,604	99,100	60,929	39,000
③	ミュージアム来場者アンケート総合満足度	97%	95%	97%	97%
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	札幌オリンピックミュージアムについては新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく減少している。今後も施設の魅力や、大倉山全体の魅力を上げる施策を実施し、ジャンプ競技やウィンタースポーツの普及振興、観光振興に寄与していただきたい。 また、オリンピズムの普及という観点では、市内の小学校65校へのオリパラ教育を実施したほか、新型コロナウイルス感染症により一部の事業は縮小しているものの、今後とも、継続して取り組んでいただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	施設利用料金収入の減少等により赤字になっているが、新たな顧客の開拓や、大倉山ジャンプ競技場の魅力を上げることにより、来場者数の増加を図り、安定した施設の管理運営に取り組んでいただきたい。

事業評価 (2) 札幌駅周辺自転車等駐輪場管理

1. 事業概要	事業所管課： 建設局総務部自転車対策担当課	担当： 小室	電話： 011-211-2456
(1)事業内容	各種駐輪場の管理運営、駐輪場料金の収受		市指定管理費(公募) 13,453
(2)事業目的	駐輪場の適切かつ円滑な管理を通じた都市機能の維持向上を図るため		
(3)事業開始	平成19年度		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		58,414 (2.7 %)	48,623 (2.1 %)	▲ 9,791
藻岩市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		21,171	13,453	▲ 7,718	
市施設利用料金収入		33,292	33,270	▲ 22	
自主事業収入(補助金除く)		1,769	1,900	+131	
その他収入		2,182	0	▲ 2,182	
費用(支出)		59,809	47,334	▲ 12,475	
事業費		59,809	47,334	▲ 12,475	
管理費等		0	0	(0)	
収支差		▲ 1,395	1,289	+2,684	
収支比率		97.67%	102.72%	+5.06%	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	職員の意識統制による親切で丁寧なサービスの徹底	実施	実施	実施	実施
②	自転車等管理システムによる円滑で正確な管理体制の実践	実施	実施	実施	実施
③	定期券販売開始日等の繁忙期における人員増員(案内・整理・誘導対応)	実施	実施	実施	実施
④	パンフレット・ポスター・WEBを利用した周知徹底	実施	実施	実施	実施
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	有料駐輪場利用者数(定期利用)	5,860	6,000	5,432	5,500
②	有料駐輪場利用者数(一時利用)	136,126	137,000	142,540	143,000
③	有料駐輪場利用料金収入(千円)	33,292	34,373	33,270	33,508
④	利用者満足調査(※)	95%	100%	97%	100%
⑤	※(ホームページでのアンケート調査で運営管理について「良い」・「普通」・「悪い」の内「普通」以上と回答した割合)				
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	コロナ禍という状況にも関わらず、自転車の一時利用件数は計画及び昨年度実績を大きく上回ることができた。また、施設の管理運営は適正に執行され、利用者からの意見に基づき運用方法を改善しており、利用者の満足度も概ね高いことは評価することができる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入が前年度よりも悪化し、計画の金額を上回ることができなかった。そのような中で、コスト削減といった支出の見直しにより、コロナ禍にも関わらず、黒字収支を確保した点は評価できる。

事業評価 (3) 大通周辺自転車等駐輪場管理

1. 事業概要

事業所管課： 建設局総務部自転車対策担当課

担当： 小室

電話： 011-211-2456

(1)事業内容	各種駐輪場の管理運営、駐輪場料金の収受	市指定管理費(公券) 26,455
(2)事業目的	駐輪場の適切かつ円滑な管理を通じた都市機能の維持向上を図るため	
(3)事業開始	令和4年度	

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		0	0	(0)
藻岩市補助金・交付金・負担金		(0.0 %)	(0.0 %)		
市業務委託料				(0)	
市指定管理費				(0)	
市施設利用料金収入				(0)	
自主事業収入(補助金除く)				(0)	
その他収入				(0)	
費用(支出)		0	0	(0)	
事業費				(0)	
管理費等				(0)	
収支差		0	0	(0)	
収支比率					
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	職員の意識統制による親切で丁寧なサービスの徹底				実施
②	自転車等管理システムによる円滑で正確な管理体制の実践				実施
③	定期券販売開始日等の繁忙期における人員増員(案内・整理・誘導対応)				実施
④	パンフレット・ポスター・WEBを利用した周知徹底				実施
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	有料駐輪場利用者数(定期利用)				6,000
②	有料駐輪場利用者数(一時利用)				140,000
③	有料駐輪場利用料金収入(千円)				30,447
④	利用者満足調査(※)				100%
⑤	※(ホームページでのアンケート調査で運営管理について「良い」・「普通」・「悪い」の内「普通」以上と回答した割合)				
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない ※令和4年度から開始した事業のため記載せず
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 ※令和4年度から開始した事業のため記載せず

事業評価 (4) 不動産賃貸・駐車場事業等

1. 事業概要	事業所管課： 経) 観光・MICE推進課	担当： 星野	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	①建物賃貸事業 SDC北12条ビル、宮の沢ターミナルビル、白石ガーデンプレイス、セレスタ札幌、大谷地アドバンシービル（セカンドストリート等）、幌北総合センターすすきの市場、山の手店舗（インポート・プラス）新札幌薬局（クリオネ薬局）、さっぽろ創世スクエア北14条複合店舗（オートボックス）、旧小熊邸（ドリーバーデン）など ②月極・時間貸し駐車場の運営 二十四軒、新札幌、大谷地、琴似北14条、大谷地東、宮の沢（全てパークアンドライド実施）		
(2)事業目的	直営駐車場においては、地下鉄駅等の交通機関の要衝に位置することから、パークアンドライドを目的とした駐車場が多い。従って、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を促すことを目的とする。		
(3)事業開始	平成10年度		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,512,977	1,469,557	(▲ 43,420)
	(69.7 %)	(64.7 %)			
	藻岩市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	1,489,450	1,442,264	(▲ 47,186)	
	その他収入	23,527	27,293	(+3,766)	
	費用（支出）	1,224,975	1,141,934	(▲ 83,041)	
	事業費	1,224,975	1,141,934	(▲ 83,041)	
	管理費等	0	0	(0)	
	収支差	288,002	327,623	(+39,621)	
	収支比率	123.51%	128.69%	(+5.18%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	テナントに向けた不動産仲介会社との連携	実施	実施	実施	実施
②	ホームページ等での駐車場案内	実施	実施	実施	実施
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	直営駐車場（満車達成率）	76%	80%	72%	80%
②	賃貸ビル等（稼働率）	96%	100%	96%	100%
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルスの影響もあり、建物賃貸事業の稼働率、駐車場事業の満車達成率が共に低下している。今後もテナント募集に向けた不動産仲介業者との連携やホームページ等での駐車案内を継続して実施するとともに、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を図るために、更なる利用促進について取り組んでいただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支差が改善したことについては一定の評価が出来るが、一方、経常収益が減少していることから、見直しの余地があると判断する。今後も、経費削減に努めながら、安定的かつ継続的な収入を確保するために、賃料収入の増加のための施策を講じるなど、不動産及び駐車場の利用拡大の促進に努めていただきたい。

事業評価 (5) 藻岩山観光事業

1. 事業概要	事業所管課：経 観光・MICE推進課	担当：横田	電話：011-211-2376
(1)事業内容	①藻岩山ロープウェイの経営 ②藻岩山観光道路の経営 ③藻岩山頂展望台の経営 ④藻岩山山頂レストラン「THE JEWELS」の経営 ⑤藻岩山スキー場ロッジの経営 ⑥藻岩山中腹売店の経営		市委託料(随意契約) 840
(2)事業目的	札幌の観光を代表する藻岩山は、その自然を生かした観光資源として、保全と活用によって魅力アップを一層促進し、市民の憩いの場として、また観光客で賑わう観光名所として重要な役割を担っていくことが求められている。従って、市民の藻岩山観光に対する再認識のための広告・営業活動・観光客誘致のための旅行代理店等に対する営業活動等を通して、更なる利用を促進させる。		
(3)事業開始	昭和60年(1985年) 8月		

2. 実施結果

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位：千円)	収入(経常収益比)	271,401	353,220	(+81,819)	
		(12.5 %)	(15.6 %)		
	藻岩市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	820	840	(+20)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	255,348	297,519	(+42,171)	
	その他収入	15,233	54,861	(+39,628)	
	費用(支出)	581,245	562,114	(▲ 19,131)	
	事業費	581,245	562,114	(▲ 19,131)	
管理費等	0	0	(0)		
収支差	▲ 309,844	▲ 208,894	(+100,950)		
収支比率	46.69%	62.84%	(+16.14%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	イベント回数	0回	2回	2回	2回
②	札幌市内小学生生徒等へのイベント告知(チラシ配布)	未実施	未定	未実施	1回
③	索道技術研修(外部主催)	3回	未定	1回	10回
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	藻岩山施設利用者数(延人員)	384千人	616千人	368千人	411千人
②	市民割引利用者数(実人員)	16,500人	17,150人	15,616人	25,940人
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるものの、R3年度に「日本新三大夜景都市」として3度目の認定を受けており、魅力を生かして利用者数を増やしていく必要がある。 サービスの向上や安全運行の強化に取り組むとともに、藻岩山全体の魅力向上を図ることにより、市民や観光客の満足度や利用率の向上へ繋がることを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響から若干の回復傾向で推移しているが、良好とまではいかない状況。 感染状況を見据えながら道内外の観光客はもとより市民に対しても情報発信を行うことにより、利用率の向上を図り、安定的な収益の維持・向上に努めることを期待する。

1 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,047,567,834	I 流動負債	1,746,426,006
現金・預金	780,070,275	短期借入金	501,000,000
売掛金	1,262,805	一年以内返済予定長期借入金	221,492,000
商品	12,581,034	一年以内償還予定社債	400,000,000
材料品	4,772,303	買掛金	3,735,171
貯蔵品	85,287,620	未払金	144,708,088
前払費用	29,872,026	未払費用	2,714,250
未収金	106,625,128	未払消費税等	105,013,900
立替金	3,233,441	未払法人税等	1,170,000
仮払金	23,833,798	前受金	92,352,121
未収法人税等	29,404	預り金	12,031,829
II 固定資産	11,750,907,540	仮受金	30,828,127
1 有形固定資産	(11,337,289,359)	リース債務	231,380,520
建物	4,359,643,583	II 固定負債	8,763,313,208
建物附属設備	890,700,178	長期借入金	2,581,680,000
構築物	388,741,838	社債	500,000,000
機械及び装置	754,699,632	退職給付引当金	91,981,530
器具備品	116,497,514	長期未払金	90,452
車両	634,463	預り敷金	877,402,972
リース資産	4,487,435,816	預り保証金	162,124,778
土地	338,936,335	リース債務	4,550,033,476
2 無形固定資産	(9,028,322)	負債合計	10,509,739,214
電話加入権	2,475,662	株主資本	2,288,736,160
商標権	1,681,255	1 資本金	100,000,000
ソフトウェア	4,871,405	2 資本剰余金	462,600,000
3 投資その他の資産	(404,589,859)	資本準備金	462,600,000
差入保証金	363,525,452	3 利益剰余金	1,726,136,160
預託金	173,800	1)利益準備金	42,330,000
投資有価証券	8,001,000	2)その他の利益剰余金	1,683,806,160
保険積立金	185,600	固定資産圧縮積立金	231,052,473
長期前払費用	32,704,007	別途積立金	2,005,000,000
		繰越利益剰余金	△ 552,246,313
資産合計	12,798,475,374	純資産合計	2,288,736,160
		負債及び純資産合計	12,798,475,374

2 損益計算書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 売 上 高		2,125,658,928
地 代 及 び 家 賃 収 入	982,556,857	
駐 車 場 収 入	431,352,392	
受 託 料 収 入	197,588,356	
索 道 収 入	226,199,836	
利 用 料 金 収 入	73,600,412	
そ の 他 売 上 高	214,361,075	
II 売 上 原 価		56,812,598
売上総利益（△は損失）		2,068,846,330
III 販売費及び一般管理費		2,430,395,708
営業利益（△は損失）		△ 361,549,378
IV 営業外収益		143,933,278
受 取 配 当 金	144,000	
そ の 他 営 業 外 収 益	143,789,278	
V 営業外費用		69,862,466
支 払 利 息	55,407,410	
社 債 利 息	3,010,000	
そ の 他 営 業 外 費 用	11,445,056	
経常利益（△は損失）		△ 287,478,566
VI 特 別 利 益		0
VII 特 別 損 失		7,366
固 定 資 産 除 却 損	7,366	
税引前当期純利益（△は損失）		△ 287,485,932
法人税、住民税及び事業税		1,170,000
当期純利益（△は損失）		△ 288,655,932